

令和8年度 荒川区立第四峡田小学校 学校経営方針

荒川区立第四峡田小学校

校長 川上 晋

1 学校の教育目標

● **元気な子** ● **やさしい子** ● **考える子**
(重点目標)

2 学校の教育目標を達成させるための方針と具体的な取組

1

思考を巡らせ、手を動かし、解を導き出す

① 児童が「分かる、できる、楽しい」と感じられる授業

- 児童の**知的好奇心**を育み、**学びの充実感・有用感**をもたせる授業
- 学習指導要領に示された「**学習の基盤となる資質・能力**」(言語能力、情報活用能力、問題発見・解決能力等)の育成
 - ・個に応じた指導を大切に算数科の習熟度別学習(3年生以上)、放課後学習「あらかわ寺子屋」の充実
 - ・電子黒板、タブレットPC、学習者用デジタル教科書などのICTを日常的に活用(普段づかい)し、**情報活用能力と情報モラルの育成**を図る
 - ・家庭でも使えるオンライン学習ソフト「スマイルネクスト」や「スタディサプリ」、Google Workspace for Educationを活用した**個別学習、協同学習の推進**
 - ・東京方式 習熟度別指導ガイドラインに沿った指導計画、東京ベーシック・ドリルの活用
 - ・家庭と連携した学習習慣、**読書習慣(家読)**の推進
 - ・学校図書館を活用した「調べる学習」の充実(荒川区調べる学習コンクールへの参加)
 - ・「荒川区ホタルを育てる会」のホタルアドバイザーの指導の下、**ホタルを飼育・鑑賞し、環境保全意識の醸成**を図る

② 研究・研修・OJTの充実による教員の授業力の向上

- 授業研究による教師の**授業改善**
- 教員が児童と向き合える時間を確保するための**校務改善の推進**
- 特別支援教育の充実**と教職員研修
- 教師の専門性、指導技術を向上させるOJT(On Job Training)の取り組み
 - ・大学教授や専門家を招聘した実践的な授業研究
 - ・主任教諭、巡回指導教員の専門性を生かしたOJTの実施
 - ・ICT機器の効果的な活用のための研修の充実

2

互いの個性を認め合い、折れない強さと柔軟な回復力

① 人権尊重の理念のもと、全教育活動で心の教育を推進

- 児童理解に基づいた生活指導の充実
- 人間関係の中で育まれる**コミュニケーション能力**と**規範意識**の育成
- 予測困難な時代に生きる基礎を育む、**内なる強さ(Inner Strength)**と**回復力(Resilience)**
- 「特別の教科 道徳」の授業を要とした道徳教育の充実
- いじめ、不登校、虐待、ヤングケアラーなど児童を取り巻く課題への未然防止、早期発見、迅速な解決、学校生活アンケートの実施、荒川区子ども家庭総合センターとの連携

- ・登校支援を行うサポートルーム(現 学習支援室)の充実
- ・「学校生活支援シート」「登校支援シート」の活用による保護者と連携した特別支援教育、登校支援の充実
- ・都のスクールカウンセラー(SC)、区の心理専門相談員、福祉専門相談員(SSW)による教育相談の充実
- ・特別支援教室「よんはけ教室」の拠点校を生かした巡回指導教員の指導

② 体力の向上と健康の保持増進

- 体力の向上と習慣化を目指した活動の取り組み
- さまざまな活動と連携した食育の充実
- 自分の健康を守る生活習慣づくり
 - ・東京都統一体力テストの実施と結果の分析
 - ・峡田地区7校による連合運動会(6年)の取り組み
 - ・東京オリンピック・パラリンピック大会の精神を引き継ぐ「学校2020レガシー」の取り組み
 - ・組織的な食物アレルギー対策(給食、移動教室等の食事、調理実習等)
 - ・エビペン[®]使用も含めた食物アレルギー対応研修の実施
 - ・家庭と連携した生活習慣・健康習慣の確立

3

確かな危機管理と、開かれた学校

① 児童も先生も安心して過ごせる学校

- 毎月の避難訓練(火災・地震・不審者・洪水)や安全指導、防災教育、安全点検の実施
- 多くの人が連携して、子供たちの安全を守る
- 児童自らが自分を守る意識を高める
 - ・実施日・時刻を知らせない避難訓練の実施
 - ・緊急時に備えた児童引き渡し訓練の実施
 - ・児童交通安全指導員、児童安全推進員との連携による登下校時の安全確保
 - ・スクールサポーター(荒川警察)と連携した校外生活指導
 - ・学校入口に人が見守る「スクール安全ステーション」の設置
 - ・自転車安全教室、セーフティ教室の実施
- 「学校と家庭・地域とのより良好な関係づくりに係るガイドライン」に即した学校運営

② 学校・家庭・地域との連携と開かれた学校づくりの推進

- 自分の学校、自分の地域を愛する気持ちの醸成
- 土曜日に授業を行うオープンスクールの実施
- 学校の活動を積極的に情報発信
- コミュニティスクールとして学校運営協議会制度の開設
- 児童・保護者などによる学校関係者評価
- 地域行事参加の積極的な奨励
 - ・学校だより、学年だより、学校前掲示板、ホームページ、「スクリレ」アプリによる情報発信
 - ・PTA 活動、父ネット(父親の会)との連携
 - ・青少年育成町屋地区委員会、町会などの行事への参加の推奨
 - 「町屋こどもまつり」、「社会を明るくする運動」、地域のお祭り など